

野路自主防災組織事務局

発行責任者 福井太加雄

平成21年9月1日

防災ニュース

NO, 9

『野路町わくわくサロン』

を開催しました。



野路町の高齢者が楽しく遊びながら、健康・食事・介護などを話し合う機会を作り、住民同志の交流の場とし、高齢者の身近な憩いの場にする「野路町わくわくサロン」を8月22日（土）に86名の参加のもと開催しました。

滋賀県介護福祉会の村田さんに「高齢になっても地域で安心して暮らしていくために」のテーマで出前講座を受講した後、踊り・ゼニ太鼓を観覧した後、健康推進委員・エルダー婦人会・更生保護女性会・日赤奉仕団の役員の皆さんの



手作りの健康食を頂いたあといきいき百歳体操・カラオケ・江州音頭と楽しい一時を過ごし、明日からの活力を得て、終了しました。

わが家の地震対策

震災が起きても家族みんなの命や、財産を守るために、何をしたら良いのでしょうか。地震から家族の安全と家財を守るための方法を認識し、地震に備えましょう。

地震火災を防ぐために

地震の被害で怖い火事。急いで119番しても、被災時には消防車が現場にかけつけられないこともあります。各自が防火と初期消火を心得て、被害を最小限に防ぎましょう。

地震による出火を防ぐには

身を守ることが第一、その後消火を

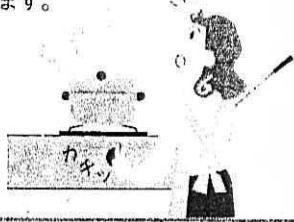
最近ではガスマイコンメーターが普及しているのですが、大きな揺れを感じると自動的にガスがストップします。まず身を守り、揺れがおさまったらただちに火を消します。

通電火災に注意!

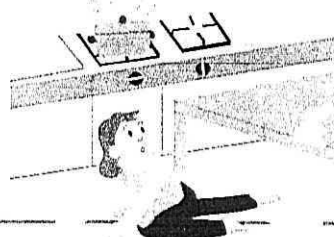
電気設備に異常がなければ、電気は送られ続けます。一時的に停電した後電気が通じて起こる「通電火災」を防ぐために、電気のブレーカーは切って避難しましょう。

火を消す3度のチャンス

1 小さな揺れを感じたとき
地震の揺れ始め2~3秒は衝撃が少ないはず。目の前で火を扱っていたら、揺れた瞬間に使用中の火を消します。



2 大きな揺れがおさまったとき
大きな揺れのときは、机の下などに身を伏せて危険を回避したあと、揺れがおさまったら火を消します。



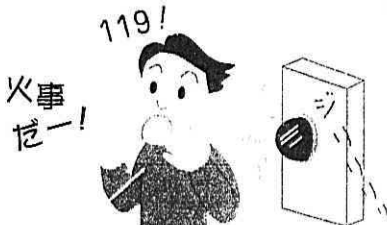
3 出火したとき
出火したときは大声で隣近所の助けを求め、出火した1~2分の内に手近にある消火器具で消火します。消火できる限度は炎が天井に届くまでです。



初期消火の三原則

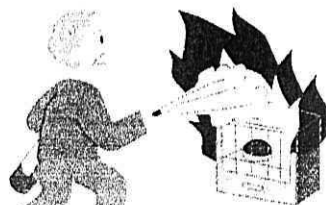
通報

- 大声で「火事だ!」と叫び、隣近所に知らせる。声が出ないときは非常ベルや音の出るものを叩くなどして知らせる
- その後119番通報



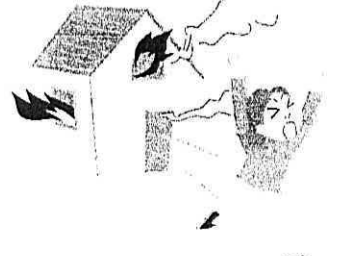
初期消火

- 火が天井に届かず横に広がっているうちは消火を試みる
- 家庭用消火器、水や座布団など身の回りのものを活用する



避難

- 危険を感じたら迷わず避難
- 避難時には火の出た部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する

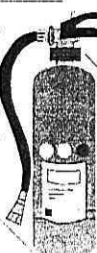


消火器は
定期点検しましょう

安全ピン
封印は切れていないか
変形や損傷はないか

ホース
ひび割れ、劣化、ゆるみはないか

本体、底部
サビや変形はないか



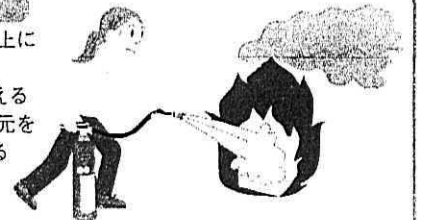
レバー
変形や損傷はないか

キャップ
変形、ゆるみはないか

ゲージ(計測しているもの)
圧力は規定値内か

シール
使用期限内か

- 消火器の正しい使い方
1. 火炎や煙を避けて風上にまわる
 2. 腰を落とし、低く構える
 3. 炎ではなく、火の根元を掃くように左右に振る



● ご注意ください!
あたかも消防署の依頼で来たかのように装って高価な消火器を売りつける悪質な業者には注意しましょう。